

こだいら 今昔

小平市の昔と今

市内の昔の風景写真と同じ場所から今年撮影した現在の写真です。小平市史が完成し、小平の歴史に対する皆さんの関心が高まっています。この機会にまちの移り変わりを振り返り、小平の歩みに触れてみませんか。



1952
(昭和27年)

青梅橋

2013
(平成25年)

庚申塔や大きな木は今もあるよ



1955
(昭和30年)

花小金井交差点
青梅街道

50年前には横断歩道も信号機もなかったんだネ



2013
(平成25年)

東京街道 (江戸街道)

この街道の開通の詳細はわかりませんが、明治20年代に至るまでこの道は荷付馬による江戸への送路として使われ、朝夕は道を横切ることができなかったというぐらい人馬の行き来がありました。道沿いには、すし屋、魚屋、荒物屋、綿屋などがあり、その当時大変栄えた所だったようです。

小金井街道 (志木街道)

小金井市から埼玉県志木市に通する道路で、当時の人たちが麦、そば、その他の雑穀を志木宿まで運んで穀屋に売りさばき、また、肥料、農具、むしろ、たわらなどを買い求めるために往来しました。道幅は、やっと荷車が通れるくらいでした。

たかの街道

ところどころ中断していますが、小平第三中学校の北側を通り市役所の南側を経て、玉川上水にかかる寺橋に至る一条の道で、たかの道とも呼ばれています。このあたりは、徳川御三家のひとつである尾張徳川家のお鷹場でした。この道は、その南の境界にあたる道で、鷹場の境杭が建てられていました。

玉川上水

江戸幕府が開かれて江戸の人口が増え、水が不足するようになりました。幕府は玉川兄弟に上水路開設を命じ、多摩川からの取入口を羽村に決め、四ッ谷までの大工事を完成させ、江戸に水を引きました。

府中街道 (所沢街道)

鎌倉街道が近世になって衰微し、この道がそれに代わりました。

青梅街道 (成木道)

慶長年間の開通とされ、小平の開発以前から存在した石灰運輸の道で、江戸幕府御用のための街道として重要な役割を果たしました。

五日市街道

青梅街道から馬橋(杉並区梅里)で分かれ五日市に至る道で、江戸へ薪炭を運ぶ主要な街道でした。玉川上水と並行しているところが多く、小金井橋付近の桜並木は花見の時期になると大変賑わっていました。



1959
(昭和34年)

学園中央通り

2013
(平成25年)

商業施設が増えたネ



1957
(昭和32年)

喜平橋

50年前から車や自転車が橋を渡っていたんだネ



2013
(平成25年)

「こだいら」の昔の風景写真を募集

昭和50年ごろまでの、小平市の昔の風景写真を募集します。募集した写真は選定し、現在の場所の写真と併せて市報へ掲載する予定です。多数の応募をお待ちしています。

募集内容 昭和50年ごろまでの小平市の風景で、現在の場所と比較が可能な写真
申込み 10月31日(木)まで(消印有効)に、住所、氏名、電話番号、撮影場所と撮影時期を記入のうえ、写真または画像データを問合せ先へ送付(電子メール可)
※応募いただいた写真は原則返却しません。市の資料として保存し活用する場合がありますため写真の著作権は秘書広報課に帰属させていただきます。また、掲載にあたり見やすさを優先して大きさの変更などを行うことがあります。

※被写体の肖像権について、第三者の許諾などが必要となる場合には、応募者の責任において、当該承諾等を得るものとします。

※公序良俗に反するもの、政治・宗教・営利を目的とする意図を持つものなど一定の要件に該当するものは掲載できません。

問合せ 秘書広報課 (〒187-8701 小平市役所)
☎042 (346) 9505、✉his yokoho@city.kodaira.lg.jp